

2013 春闘速報

札幌圏 2013 春季生活闘争闘争委員会

2013年2月28日発 第4号発行責任者 平野博宣 Tel011-210-0505 Fax011-210-0606

私達がめざす日本の社会とは

横路孝弘 衆議院議員が多いに語る

第9回なるほどセミナーを開催！

札幌地区連合は2月22日、第9回なるほどセミナーを開催し、講師の横路孝弘衆議院議員より「安倍政権の問題点と私達がめざす日本の社会」と題する講演をいただきました。横路議員は、まず3年前の政権交代の背景として、98年から続く大量解雇と自殺者の急増が社会的不安要素として拡大したことを指摘しました。その結果、非正規社員の増加と雇用の劣化が企業への忠誠心欠如を生み、労働者自身も将来に対する希望を見失ったとしました。一方企業では成果主義による管理を強めることから、職場での人的繋がりも無くなり、その影響が地域、家族との関係にも波及したとしました。政権交代以降は医療、介護、教育分野を中心に雇用が大幅に増加し、女性の雇用も増加したとしました。そして失業者と倒産件数は減少は顕著である民主党政権は正しい選択であったとしました。

また、安部政権の問題点として「人からコンクリートへ、地方から中央へ、教育福祉から軍事へ」の視点を指摘し、今優先すべきは雇用確保であり、若い男性の雇用問題と女性の社会参加実現に対する努力が必要であるとしました。



憲法問題をしっかりと見極めよう！

憲法制定の経過に学び、戦争と核なき世界を目標に

憲法問題では、日本国民は自身の発意で戦争禁止の規定を憲法9条に書き込んだとし、海外での武力行使や専守防衛から先制攻撃を可能とし、軍備増強と戦争参加への道を可能とする憲法改正を取り巻く情勢と背景について説明されました。

戦争の反省の下に制定された平和憲法制定の経過に学び、戦争と核なき世界を目標に、現在の憲法問題をしっかりと見極める必要があります。

